

平成28年度第5回まちづくり懇談会

1. 日 時：平成29年1月28日（土） 午後1時00分～
2. 場 所：船橋市職員研修所 601研修室
3. 団体名：船橋市PTA 父親の会（総称）
4. テーマ：「笑顔があふれる子育てのまち」
5. 次 第
 - （1）開会のことば
 - （2）会長挨拶及び懇談会趣旨説明
 - （3）市長挨拶
 - （4）懇談

【市長挨拶】

日ごろから、皆様には、各学校での行事を含めて、地域活動等々、いろいろな形で活動していただいて、私としても心強く思っております。本当にありがとうございます。

そして、今日はとても楽しみにして来ました。

今、子どもたちのために何が一番必要かといえば、挨拶ができる間柄の人たちをどのくらいつくれるかだと思います。街中で会ったときに、全然知らない関係で通り過ぎてしまうのか、「この間はどうも」と言って通り過ぎるのか、この関係をどのくらいつっていけるかで、子どもたちが大人の社会を見る目が変わってくるのではないかと考えております。

そういった意味では、いろいろなお仕事等がある中で、皆さんが活動していただくことが子どもたちにとって本当に大きな力になると思っています。

私が市長になってから3年間、市と商工会議所青年部や青年会議所などの皆さんとほぼ同世代の人たちが関わってやっている「こども未来会議室」（※）を開催していますが、そこで夏休みに市内各中学校2年生たちとお話をします。初年度から良い意見がありました。3年目に入って、よりしっかりとした実現可能な提案をしてくれるようになってきています。

本市は、今年、市制施行８０周年という記念の年を迎えます。私が今年、市の職員たちに、市制１００年、今から２０年後のために、「今年はみんなで何をやっておくべきかを考えて踏み出す年にしようよ」という話をしました。今から２０年後、船橋市が１００周年を迎えるとき、今いる子どもたちが、おそらく結婚して、家庭を持って、子どもを持つ時期です。今の私たち大人が何をやるべきなのか、今の子どもたちが大人になった社会に何を引き継ぐのかを、一緒に考えていければと思っています。

それと、学校以外の活動として、地域活動、町会自治会など、さまざまな分野の活動もあると思います。そういったところへの参加というものも後で皆さんに質問させていただきたいです。ぜひ皆さんに、機会があれば触れてほしいと思っています。

※「こども未来会議室」

市の現状を子どもたちに伝え、まちづくりを意識してもらうとともに、将来を見据えた意見交換を行い、子どもたちの視点を活かした市政運営につなげていくことを目的として市長と中学生が船橋の将来について語り合う事業

【懇談】

《参加校 27 校が 5 グループに分かれて、各校ごとに活動内容、会員増減状況、目的等を発表し、グループに対して市長が意見を述べる形式で進めた。》

＜各校発表、市長コメント＞

●八栄小

八栄小学校では、約２００人の子どもたちを集めて、学校の校庭でキャンプをやっております。ここで１年生から６年生までがそろってキャンプすることで部活などとはまた違う、仲のいい関係ができてきています。私の子どもが買い物に行ったとき、お泊りキャンプで知り合った１年生から「あ、お兄ちゃん」とか話しかけられたりして、先ほど、市長が話された挨拶する関係が、まさにこういうことがきっかけで広がっていき、これがすごいいいのかなと思っています。

あとは、パトロールをやっているとき、自治会と同じ日に実施していることが多いので、自治会などと連携をとりながら、地域を見守っていければいいかと思っています。

●船橋中

今年で6年目の若い会で、学区内の小学校それぞれお父さんの会がありますので、いろいろな経験を積まれた方が中学校にも上がってきて、組織をつくっております。

活動はいろいろ模索中ではありますが、地域、学区の小学校の方々との交流を図るために、毎年6月にソフトボール大会を開催しております。そこで顔見知りになった方々と、先ほどから話にあったような、挨拶ができる関係をより強固につくっていきたいと思っております。

親父の会の学校内の活動といたしましては、PTAのバザーに親父の会として出店して、毎年、一番の売り上げと利益を誇っております。

●南本町小

南本町小学校のおやじの会は、年に10回ぐらいの学校行事のお手伝いをするということを基本にやっております。ここで南本町小学校おやじの会活動基本ポリシーを紹介させていただきたいと思います。

子どもたちのよい思い出づくりのために、小学校に通う児童のおやじ的な活動をします。小学校のイベント、学校施設の維持の手伝いをします。お世話になっている先生方とも交流し、力仕事を見つけます。おやじたちと交流も楽しみます。無理はしません。無理強いもしません。OBも参加できます。でも、活動内容は現役の意見を優先します。

このようなポリシーをもとに、おやじの会40名みんなで運営できています。

●小栗原小

発足して3年目で、基本的には学校の行事のお手伝い、バザーへの出店、学校のペンキ塗りや、スノコ作りの要望に力を入れています。

去年から消防署の方に講師をお願いし、子どもに対しての救命救急教室、例えば心臓がとまったらどうするかとか、喉に詰まったらどうするのかというのを中心に親子で体験するという催しをやっています。

また、青少年相談員に3名ほど会から参加しています。スクールガードなどの子どもたちの安全を見守ってくれる方や、地域との連携をするという方々も増え、地域と学校とで、父親という立場を使って活動しています。

○市長

どうもありがとうございます。

私も足を運ばせていただいたイベントもありますけれども、学校との連携だけでなく、やはり地域との連携というのが私は非常に大事だと思います。パトロールしたときに自治会と重複したりするというお話がありましたが、自治会などどのようなコンタクトをして整理をしていくかというところのやりとりが、多分、これからのまちづくりの上では一番大きなポイントになっていくのかなと思います。

それぞれ発足してからの年数は違いますが、こういったつながりを持ちながら、いろいろなイベントをやっていただいていることが、子どもたちにとってはいい思い出になっていると思います。

ぜひ、これからも各学校の支援とともに、地域の中で、それぞれ町会自治会の人が学校に対して期待していることとかもあると思うので、その辺を話す機会をうまくつくってもらえるといいなと思いますし、市はいくらでもつなぐことは可能なので、言っただけだと思います。

●峰台小

春と秋、学校の運動会のサポートとPTA主催のバザーが大きい活動で、学校からの要望があった、例えば、校内清掃やペンキ塗りなどを、学校とうまく連携しながら、できるメンバーでやっていきたいと考えています。

やはり今後、学校の、例えば先生たちと、より緊密に仲よくなるところをもう一歩進めてやっていくことができたかなというふうに考えています。

●若松小

私たちは発足4年目になります。今、感じていることは、立ち上げるときは、エイヤッと頑張れば何とかできるかもしれないんですけども、続けていくのがすごく大変だというふうに感じておりまして、長くやっている方の経験やご意見を、今日、参考にできればと思っております。また、父親たちが集まるといろいろできるものですが、ただ、目的が一緒にならないとなかなかまとまらないというところもありまして、現状では、基本的には学校がこれをやってくれ、助けてくれということに対してできる範囲でやるよというところが一番やりやすいのかなというふうに感じております。具体的には、運

動会のときに男手というか、マンパワーが必要なときについて手助けするなど、そういったことを中心にやっていきたいと思っております。

●市場小

市場小学校の学区は、もともと市場の東側エリアだったのですが、新船橋にプラウドが建築され、今はそこからの生徒が多く、半数ぐらいがバスで登校しています。

それによって、もともとは宮本中学校だけが進学先の学区だったのが、船橋中学校も絡んできて、おかげで両方のソフトボール大会にも出席でき、活動範囲が広がって、挨拶できる関係というのが随分広がるんだろうと思う反面、今後、新船橋からの生徒たちは、どうなるのかなという不安は親子ともにあるというのが、市場小学校の特殊性なのかなというところです。

夏にはおやじの会主催で花火大会、秋にPTA主催の市場小まつり、冬は餅つき大会をやって、特に花火大会については、今、船橋市の中で手持ち花火ができる環境がなかなかありませんので、ここは子どもたち、非常に喜んでくれているというところです。

一方で、会としての課題というのが、地域の自治会等のイベントに出席はしていますが、会の中からの出席率が非常に低いということがありますので、これは今後の課題かなと思っております。

●宮本小

私たちは、もう16年続いている会ですが、先輩から受け継いだ活動をリニューアルしながら、新しいことを新しいお父さんたちでどんどんと改良しながらやっています。数年前からは、親子ペンキ塗り体験など、親子参加型イベントを増やしつつ、その中で流しそうめん大会は毎回250名以上も親子で集まってくれる会になっています。そこに地域のスクールガードさん、自治会関係者をご招待して、地域の方との壁を少しでもなくして、うまく触れ合う機会をつくっていくことを、ここ数年、続けているところです。

それと合わせて、各学校と合同で、市民まつりに自治会連合会子どもみこしのパレード、おやじの会の学校4校で協力した、子どもたちと地域との触れ合いをつくっていく活動は毎年あります。

その他、地区社協のイベントのお手伝い、やはり少しずつ、おやじの会から地域活動ができるメンバーが出てきてくれればいいのかなど。これからも学校内のイベントを充実させて、それプラス地域活動に広げていくというふうに考えています。

会も、継続して新人が入ってきてもらわなければいけないことなので、ホームページ「宮本小学校おやじの会」で宣伝しています。ここで会の活動を全て、活動のたびに学校に個人情報の確認をしながらアップしているところでもあります。

●宮本中

発足から28年目です。活動内容としては、地域交流会、バザーで5種ぐらいの出店をする、あるいは校内整備、すのこをつくったりする、それから、社会福祉、社協さんのクリスマスパーティーでは400人分の夕ご飯を用意する、それから、夏、大神宮とか神社の警備、そういった活動をするということで、活動内容は皆様方とそんなには変わらないのかなというふうに思っております。

実は、私どもは3校の小学校から宮本中学校に上がってきます。小学校から始めた方や、中学校から参加した方もいて、そうすると、それぞれカラーも活動方針も違いますし、学校優先なのか、地域優先なのか、その辺の活動方針をまとめ上げるのに、今、苦労しているということを、今日、皆様方と共有したいと思っております。再来年には30周年を迎えるんですが、その行事のやり方についてもいろいろな意見の人がいて、日々、悩みが尽きないところです。

○市長

今、それぞれの学校の話をしていると、おそらくもともとの地域のつくりというか、成り立ちによって、学校の置かれている雰囲気も、違う気がします。

特に、宮本あたりは非常に歴史があるところなので、もともと町会の人たちが頑張らずっと小学校の面倒を見ていたみたいなのところがあるんだと思います。ただ、それぞれがそういった意識を持った人たちと交流をして年数を重ねていくことが、次への改善につながるのだと思います。

先ほど、宮本中学校から、学校優先なのか、地域優先なのかというところがありました。これはすごく難しいと思うので、ここにいらっしゃっている皆さん方で、後でディスカッションしていただければと思います。

子どもたちを軸にして活動していることは共通しているので、迷ったときにはその根っこのところを、そもそも論で確認してやっていくのがいいのかなという気はしています。その後は、また改めてお話をさせていただければと思います。

●七林中

活動を大きく分けると3つございまして、1つは北習志野駅前の商店街に集まっている生徒たちに対してのパトロールをしております。1つは体育祭のときの駐輪場の整理で、おやじの会のOBの方が手伝いに来てくれるのです。ここで自分の子どもの出番になったときに、OBの方が「俺、見ているから見ておいで」という、そのような形で、おやじの会のOBとのつながりがこういったようなところであって、とてもいい感じかなと思っています。

もう1つはバザー。期間中、約3,000本焼いたのですが、とてもおいしくて、子どもたちも、思い出に残るような焼き鳥になっているんじゃないかなと感じております。

一つ問題として、おやじの会に入ってくるお父さんが少ないので、今後、どのように増やして、どう活性化するかが、今、大きい課題となっております。

●習志野台第一小

今年で9年目ですが、ようやく1年間を通じてやることが決まってきたかなという感じです。運動会のお手伝い、エアコンのフィルターの掃除、扇風機の片づけとか、そういったものが中心になっておりまして、あとは、夏場に流しそうめんを、学校のために、子どもたちのためにできるときにできるだけのことをやるという形で進んでおります。

私どももやはり新しい会員が、Facebook等での活動紹介を行ってもなかなか増えなかったのですが、例年1人位のところ、今年は5人ほど入りました。皆さんのヒントになればと思ひまして、ご紹介させていただきます。

運動会るとき、ゴールの目の前に私たちの専用特等席を設けていただき、おそろいのオレンジのTシャツを着た人が、そこでカメラを構えて子どもをバシバシ撮っていたのですが、それを見ると、ついつい皆さん、俺も入ろうかなという感じになられたんじゃないかなというふうに思います。ぜひ何かのご参考にしていただければと思います。

平日の日中は仕事で不在ですが、土日、会を通じて地域の皆さんとの関係もでき、町内役員までやらせていただけるようになり、個人的には非常によかったなというふうに思っています。

●高根台中

異例ではあるのですが、私はOBで会長をやっております。ほかの会と同じ新入会員は入ってこないという悩みが一緒ですので、新たに3つの点に取り組んでみました。

1つは、入学式が終わった後に、会をPRする時間を設けてもらいましたが、皆さんの関心事はPTAの役員決めだったようで、効果がなかったようです。2つ目は、地域で活動をしているソフトボールの年配の方たちと一緒に清掃作業をやりまして、これは地域の方々からの注目を浴びる効果があったのかなと思います。3つ目、案内文を配ってもお母さん止まりというのが多かったので、新たにFacebookを立ち上げ、活動が見える形にしました。まだ答えが出ていないのですが、今後も引き継いでいきたいと思っております。

●二宮中

活動はペンキ塗りや草刈り、U字溝の清掃、パトロールなど力仕事をボランティアとしてお手伝いをしております。

また、6月のPTAのバザーでお餅の販売をしており、実際に杵と臼を使って、中学生と餅つきをしたりしています。あと、生徒との親睦として、近隣の6校合同でソフトバレーボールなどをやっています。

やはり課題としましては、入学式の勧誘とかを行っていますが新規の会員が少ないということがあります。今日は皆さんの意見を参考にしたいと思います。

●前原小

私たちは50名ぐらいの会員で、草刈りですとか運動会の手伝いとか、ふだんの活動は30人ぐらいで行っています。特別なこととして2つあり、1つは夏に学校で親と子が参加する宿泊キャンプをやっております。そこでいろいろな催し物をやりますので、仲間を増やすには効果があるのかなと思っています。もう1つは親子見学会です。去年は船橋オートレース場に行きましたが、今年は創立60周年なので、学校の体育館でプロレス団体のイベントをおこない、親子そろって200人位の参加がありました。企画

を出した段階で学校からダメと言われるかなと思ったのですけれども、校長先生も教頭先生からも理解を得られて、学校との関係も良好にできているのかなというふうに思っております。

●飯山満小

活動はパトロールなどで、PTAと連携して私たちの会は、今、なくてはならないような状況になっていますが、やはり新しい人が入ってこなくて困っています。そこでデイキャンプの開催時に2つ始めました。1つは、1年生は必ず保護者同伴で来てもらうようにしました。これで新しい方が来ないかなと思ったのですけれども、なかなか定着しません。

もう一つ、企画段階から手伝ってくれる人を募集しました。私たちは特殊な集団と思われているのでは？好きなことをやっているだけなのでは？と、そうではなく皆さんの声を集めてやりたいということで声がけをしました。これで、新しい人が入ってきてくれるかなと思います。

○市長

活動もそれぞれ工夫してやっていただいている、私が焼き鳥をおいしく食べさせていただいた七林中のお話もいただきました。

やはり悩みは共通ですね。逆に言うと、新会員が入らないというのは、これは皆さんの会だけではなくて、社会全体がそんな感じになっています。

私としては、皆さんの会員募集もそうですが、いろいろな地域団体の会員も入ってこない、これについて、ぜひまた後で意見交換ができたらと思っています。

ただ、皆さん、いろいろ会員募集で工夫をされていますね。前に聞いた話ですが、奥さんが間違えて応募してしまい、しょうがなくて行ってみたら面白かったので続けたという人もいました。今日は男の人ばかりなので、協力されている女性たちに、男性たちの活動についてはどうなんだ、というのをぜひまた後で聞いてもらいたいと思います。

●西海神小

会の活動は、子どもたちの笑顔のためにということと、親子のつながりということをテーマに置きまして、年間5回ほどのイベントの企画をさせていただいております。会

員40名ほどいまして、毎年、7、8名、それなりに順調に新規会員さんが入って、20代から50代までのお父さんが一緒に活動しているところでございます。

春のころに2つほどイベントをしております、1つは会員の家族でのバーベキュー大会。年間を通じた活動をするためにも、奥さんの理解をいただくということが一番大変で大事だと思いますし、奥さん同士も仲よくなってもらえればというように思って開催しております。もう一つは運動会です。先生方の協力をいただきまして、先生方とリレーや玉入れ競争などで勝負をすると大変盛り上がりまして、参加率も大変高いところでございます。

また、自治会さんとの関係も非常にうまくやらせていただいております、何名かの人も会員になっている中で、年末の餅つき大会ですとか、夏の盆踊りで出店をさせてもらい、お互いに協力体制でやらせてもらっています。

最後に、大変手前みそなのですが、めだかの会という大変いい名前をいただきまして、町を歩いているときに通り過ぎる子どもたちがお父さんの顔を見て、「この人、知っている。めだかの人だ。」と言ってもらえるときがやはりやっていて一番うれしいときだなと感じています。これからも楽しくやっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【西海神小PTA役員より】

会には、PTAの下部組織として補助金も出しておりますが、協力的なお父さんたちが多くて、PTAのイベント、特にバザーのときには、4、5店舗出していただいて、とても貢献していただいています。お父さんたちの活動は楽しそうに盛り上げているという雰囲気があって、すばらしいなと思っています。最初の市長の挨拶で、次の市制100年のためにという言葉がありました。PTAの活動も、親の世代がどんどん変わってきて、PTAのあり方もまた変化していかなくゃならないんだなということは、日々、感じています。具体的な策はまだないですけども、その辺も変わっていけたらなと思っています。

●海神小

私たちもPTA、教育の会といいますが、その下部組織として父親部という形で活動させていただいております。最近、教育の会の方から父親部がいなければ全てのイベ

ントが回らないといったご評価をいただいている、ありがたいことだなと思っております。

行事として運動会のお手伝い、流しそうめん、学校の池掃除、バザー、餅つきを行います。それと、皆さんにお勧めをしているんですけれども、小学校最後、6年生を送る会という形で、父兄と子どもたちのガチンコ運動会を行っています。ここで実際にお父さん方とお母さん方に子どもの成長を感じてほしいので、毎年、実施させていただいています。

それと、父親部は毎年、15名ほど人数が増えております。その理由は、子どもたちが「何でお父さん、父親部やっていないの。」という言葉を書いていただいているからこそだと思っております。私たちは、子どもたちのため、自分たちが楽しむためにやっていますので、皆さんもよろしければこういった活動をしていただければと思います。

●海神南小

P T Aとおやじの会は完全に別組織ではありますが、密に連携をとって、イベントのお手伝いをたくさんしております。

会員数ですが、やはり紙で配ってもなかなか増えないことや、入学式に配っても全く効果がないというのも全く同じでして、皆さん、同じ悩みを抱えているんだと思いました。

活動は、ひまわり110番、ウォークラリーのお手伝い、バザー、流しそうめんです。裏方で、昔遊び、割り箸鉄砲やスライムの作り方を教えたりしております。それと、5, 6年生対象に、学校を使いまして肝試しをしております。これは毎年、好評いただいております、今後も続けていければと思います。

●海神中

私たちも学校、P T A活動のお手伝い活動をしています。地域の方々とも協力させていただいて、公民館事業なども手伝っています。また、海神中学校区内の小学校6校合同で、会の交流をしようということで、昨年度はボーリングをしまして親睦を図っています。

子どもの活動範囲は塾、予備校、習い事などで幅広く活動しているので、皆様と情報交換し、共有して、また自校に持ち帰り、活動に生かしていきたいと思います。船橋の子

どものために何ができるかとか、何をしていかなきゃいけないか、先ほど市長さんのお話にありましたけれども、そういった話が皆さんとともにできたらいいなというふうに思います。

例えば体育指導員、PTA、青少年相談員の方がいろいろな活動をされていますが、そういった方々と交流をすれば、お互いがわかり合えるので、そこで青少年相談員をやってみようかなとか、子どもが学校に入ったらPTAをやってみようかなというような方が増えるんじゃないかなと思いますので、その辺もちょっと考えてみていただきたいと思います。

○市長

先ほど海神小で、子どもたちが「お父さん、やらないの」というふうに言ってくれているのではないかとありますが、市も同様です。自分たちは一生懸命やっているが、なかなか市民にわかってもらえないという悩みがあるケースが多いです。ひょっとしたら、これは何か大きなヒントになるのかなという気はしました。

より一層、子どもたちに会の活動を伝えていくにはどうすればいいかというところと同じなのかなと思いました。

●御滝中

活動は、校内整備、草刈り、側溝掃除、お祭りのパトロール、行事としては、運動会、駐輪の整備、バザーのお手伝い。バザーは、地域の皆さんでお越しいただけるので、地域との交流が深まっているんじゃないかなと思っています。

特徴として御滝中学校は多くの地域の方とのつながりもありまして、そのうちの1つに、防災関係の避難所運営協議会において、大震災とかがあったときに中学校が避難所として活用されることがあります。日ごろからシミュレーションや勉強を積み重ねることで対応できるようにするのですが、そこにPTAとおやじの会も参加しております。今年は、その中で炊き出し訓練というのを独自に主催しました。生徒にも声をかけて、地域からお釜をお借りして、実際にまきで炊飯をしてみる。できたお米はPTAのお母さんにご協力いただいてお握りにしてみんなで食べる、そういったような活動を行っております。

あとは、P T Aの主催になりますが、毎年4月に観桜会と称しまして、御滝中、金杉台中、学区の小学校5校から小学校、中学校のP T Aの方、校長先生、教頭先生、あとは地域の社会福祉協議会の方ですとか、消防団の方とか、そういった方との交流を深めるというところで、地域交流を行っております。

●大穴中学校区（大穴中、大穴小、大穴北小）

大穴小学校と大穴北小学校、それから大穴中学校は、一緒に活動していくと何かと非常に動きやすいということから、3校で一体となって活動しております。各小学校、中学校の運動会の手伝いや、独自の合同サマーキャンプ。地域の夏祭り、P T Aのバザーの出店、大穴地区の7連合会運動会でのお手伝い、公民館祭りのお手伝い、年に数回の懇親会、3校合同で先生方も交えての忘年会、それから餅つき大会というイベントなど、毎月、忙しくやっていますが、なかなか会員が集まらないというのが現状です。

F a c e b o o kとかチラシとか、いろいろやっていますが、年に2、3人ぐらいしか集まらないというのが現状で、今、82名の会員がいるんですけども、大体30人集まればいいかなぐらいの人数しかいないので、少ないときはなかなかイベントが厳しくなっているというのが現状でございます。

●古和釜中

まだ会が発足していませんが、今年からP T A会長をお引き受けしたときに校長先生から誘われてぎくばらんな話をしたのですが、そのときに草刈りを一緒にやろうか、そのあと宴会をしようかとか、バザーを手伝ってもらいたいという話がありました。

そういったところから今年は始めまして、まだ人数としては10人ぐらいの集まりではあるんですけども、皆さん、非常に楽しそうにやってくれているので、これはぜひ続けていければなというふうに思いました。P T Aの活動とか、学校にお父さんが来ているというのは非常にやはり力強いものがあるなというふうに思っていて、本日、皆さんのお話を伺っていると、当たり前におやじの会があるというふうなことを改めて知りますと、ぜひ古和釜中学校もおやじの会を発足したいというふうに思っています。これからもぜひともよろしくお願いいたします。

●八木が谷小

具体的には、学校の環境改善、草刈り、ペンキ塗り、夜間パトロールなどをPTAや先生と連携をとってやっております。あとは運動会の手伝いを朝からやっており、運動会中のパトロールもやり、去年は警察官も同時刻にパトロールしていただいて、もめごとが減ってきており認知は広がりつつあるのかなと思っております。

あと、県民の森を使ったデイキャンプです。150人ほど集まって、子ども主体で、まきを使った調理も毎年やっております。他にはドッチビー大会なんかが多いですけども、そのとき、会の主催の炊き出しとか、あとはバザーで餅つきとか、そういった活動をやっています。

イベントごとに各自治体様、児童ホーム、公民館から道具を借りていることもありますので、そういった自治体のイベントのお手伝いもしています。

まずは事故なくやりたいので、そのためには無理しない。そのためにはできるだけくさんの人に来てもらって、多くの目で見て安全を確保する、そのためには楽しくやるというところをモットーでやっております。

●咲が丘小

主に学校行事のお手伝いをしています。側溝掃除やビオトープの掃除をしていたところ、ザリガニとか出てきまして、子どもたちと楽しく掃除しております。

運動会では場所とりの整理係をしておりますが、逆に自分たちの場所がとれなくなるので学校の計らいで専用の席をつくっていただくという形でやらせていただいたりしております。

今年からですが、夜の学校で肝試しをやることになりまして、PTA会長の強い希望で、校長先生、教頭先生と協議をしまして開催することができました。今後もそういういろいろな企画をやっていききたいなと思っております。

またバザーの手伝いや活動をとおして、PTAも含めて協議させていただいている感じです。あと、ふなばし市民まつりの夜のパトロールを4校合同で実施させていただいています。

町内会のお祭りでは、私たちが子どものおみこしを学校で作りまして、いろいろなイベントで子どもたちに担いでもらうことをサポートしています。

あと、会のTシャツを八木が谷地区合同で作成しております。小学校同士は別々ですが皆、八木が谷中学校に進学しますので、そのTシャツを着ていればおやじの会の人だねというのがわかるような形のものをつくっており、それを着て活動することで会員が増えてくれないかと考えています。

●八木が谷中

学校のため、子どもたちのため、同様に環境整備から始まりまして、体育祭の周辺整備、校内のペンキ塗り、その他もろもろをお父さんの力を使いましてやっております。

八木が谷中学校はP T Aの傘下ではないので、お父さんたちの任意活動になっております。先ほどお話がありましたが、3年ぐらい前に地区の会を一つにまとめたいという話がありまして、八木が谷中学校を頭に3校の小学校のTシャツを共同にしようということで、地区部の一番大きい団体であります八木が谷小学校さんのデザインを使っております。

Tシャツの左脇にハンコあり、そのハンコが八木が谷小学校、八木が谷北小学校、咲が丘小学校になっておりまして、ぱっと見た目は同じでも小学校がわかるようになっております。

地域の防犯、啓蒙活動ができればいいねということもあり同じTシャツですが、小学校のお父さんというより、おやじの会のお父さんだと、そういった認識で、よろしいのではないかなと思っております。

地域との連携について八木が谷中学校では考えておりまして、卒業したお父さんたちが集まって「子ども応援団」という名前で活動を始めました。現役ではなかなか小学校、中学校、P T Aの縛りもあって動けないということがございますので、その意味では、枠の外のお父さんたちに頑張ってもらおうということで連携していきたいという、そういった地域づくりを目指したいというところで活動をやっております。

●夏見台小

私たちも他の学校と同じように会員は少ないなというので、それが悩みになっております。今、現役が6名しかいない状態です。何かイベントがあるときに、チラシ、お手紙を書いたりだとか、声かけしたりだとかして会員の募集はしているのですが、な

かなか集まらないという状況になっています。なので、イベントをするときはOBにもお手伝いしていただいているような状況です。

ほかに、防災関係で防災デイキャンプというのをやっております。今年度で3回やったんですけども、夏見台小学校の防災倉庫の見学、それから炊き出し訓練として子どもたちと一緒にカレーをつくって食べる。それから、今年度、地震等が起きた場合はトイレの水は流せなくなるのですが、そのための簡易トイレ作りを子どもたちと一緒に行いました。

○市長

皆さん、本当にさまざまな活動をされているんですけども、その中でさっきも言いましたが、子どもたちとの接点、活動の接点というのが、皆さんのお話を聞いているととても大事である気がしてきました。

<意見交換>

○市長

今日、出席されている父親の会のお子さんたちの中で、お父さんの活動について、こんなことを言っているという方がいたら、ちょっと聞かせてもらえませんか。

●団体

多分、どこの家庭でも、子どもが小さいときは楽しみとしてお父さんと一緒に出てきてくれると思うのですが、高学年になればなるほど無関心になる。クラブ活動等を始めたら、もうお父さんはお父さん、子どもは子どもと、だんだん家庭内で分かれてきてしまって、やればやるほど無視される、非常に冷たくあしらわれて、それをどういうふうにうまく丸め込んで活動をしていくかというのは非常に大変です。本当にやればやるほど迷惑がられますね。

○市長

なるほど。奥さんは、その活動に対してどのような評価をしてくれているのですか。もうちょっと家にいてよとか、そういう会話があるかもしれないですけども、その辺はいかがですか。

●団体

我が家は比較的理解してくれているほうだと思います。会長代表になるといろいろな事務的なことが多くなるのですが、マネジャーみたいに手伝ってくれたりもしています。単に大人が集まって楽しんでやっているだけじゃなくて、学校のためにやっている活動ということがわかると、家でご飯を食べているときには、今度、こういうことをやったらいいんじゃないと言ってくれたりとか、そういった面ではありがたいなというふうに思っています。

学校のためになっているということを理解してもらえるかが、コツなのかなというのは、小学校からやってきて8年目になりますけれども、それはちょっと感じています。

○市長

評価というか、周りが認めてくれないと、会の存続が難しくなったりしますよね。

ちょっとお話を聞いていて、私もこれは教育委員会とお話ししようと思ったのですが、学校の先生方が、会の活動を子どもたちに言う必要があるのではないかと思いました。これだけいろいろ、ペンキ塗りや、フィルターの清掃、お祭りの手伝いをやってもらっていて、事業が終わった次の日に、子どもたちに、「昨日は地域の人たちに手伝ってもらって、おやじの会の人とか父親の会の人たちにも、お父さんに帰ったらよろしく言ってね。」と伝えるという、その一言が、結構、大事なのかなと思いました。その辺はどう感じられますか。

●団体

私はOBですが、市長が、今、お話しされたこと、実は私も感じていました。やはり先生方の協力があるなしで全然違ってくるんです。休みの日に出てこいとかという話ではなくて、かなり関心が高い先生もいらっしゃって、朝の会とかで、いろいろな話をされる先生もいらっしゃいます。最近、やはり先生方、忙しいという部分もあると思うんですが、私たちの認識がないらしく、「おやじの会でお世話になっています。」と言っても、「おやじの会？」になってしまうこともあります。

●団体

私の学校では、例えば扇風機の掃除とか、エアコンのフィルターの掃除、土曜日とかにやりますけれども、そうすると、金曜日の間に、黒板に、「立ち木の会の皆さん、どうもありがとうございます。」と、必ず全教室に書いてあります。学校のお便りにも立

ち木の会さんにはこんなことをやっていただきましたと言、入れていただいたりして
いまして、学校側のご理解をすごくいただいて、非常にいい関係でできているかなと思
っています。

○市長

思った以上に皆さんが地域との関わり合いを持っていてくれるのが、本当に心強かつ
たです。今、市全体の中で一つ大きな悩みがあって、それは町会自治会の役員の高齢化
です。お祭りでも手伝っていただいている方は沢山いますが、町会によっては、後期高
齢者間近の方がやぐらを組んだりしています。これから、高齢者の見守りなどを市全体
でやっていくとすると、どうしても次の世代の人たちの力が必要です。

最近、私は自連協の役員さんに、「おそらく、父親の会の方たちは、何月何日のこの
日に手伝ってくれということなら手伝ってくれる人が沢山いるはずですが、1年間通し
て役をやってくれというのは、仕事をやっている方には厳しいと思う。」という話をし
ています。

既に役員などをやっている方も沢山いらっしゃいますが、「単発だったら、あるいは
事前に言ってもらったら何とか手伝えるよ。」という方は、手を挙げてもらえますか。

(挙手多数)

ありがとうございます。これから、市でアンケート調査をやりたいと思っています。
こういう形だったら参加できるよとか、全く今までなじみがないといった、いろいろな
ところがあると思いますが、ぜひ学校のことも含めて、子どもたちが住んでいるこの地
域がどんな状況になっているかを皆さんにもっとお知らせしていきたいと思っています
ので、その機会にはまた何らかの形で、父親の会の皆さんに直接聞くのか、PTAを通
じて聞くのか、まだ決めていませんけれども、そういう格好をとりたいと思いますので、
よろしくお願いいたします。

●団体

松戸市長をはじめ行政の皆様、本日はありがとうございました。またご参加の皆様にも
改めて感謝を申し上げます。皆様の笑顔が子どもたちの未来をつくっていくのかなと
いうふうに思っております。一緒に頑張っていきましょう。

○市長

やはり懇談会の時間が足りないですね。もう少し時間があれば、皆さんの本音が聞けると思いました。

また改めて、今日は全体会議みたいな形になったので、テーマごとにグループ3つぐらいに分けて、その後でトークセッションみたいなものをやれる機会があればと思います。

まだまだ聞きたかったことは、PTAと一緒に父親の会と、それ以外の父親の会、それぞれ予算的なものなど違う部分があるように聞いているので、その辺もどういう形でお互いに情報交換していくのがいいのかというのを、ぜひ私も参加させていただきたいと思っています。

改めてよろしくお願いします。本当にありがとうございました。（拍手）